

## **研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針**

### **[1]研究者として**

本学では、汎用機器については最先端の機器を設置している。また、e-ジャーナルを含めて多くの専門雑誌を配置しているため、通常の研究活動は十分に行うことができる。特殊な機器を用いる場合には、他大学との連携により使用することが可能である。研究指導教員との間での研究内容に関する議論を深めることで研究者としての多角的な視点での研究の推進を行うことができる。また、女性教員の比率が高いため、女性研究者の育成環境としても問題は無い。

### **[2]教員として**

大学教員としてのキャリア形成を行うために、学内で開催される FD または SD 研修会に参加することができる。専門分野が学部等の科目に一致する場合、非常勤講師として講義を担当する可能性もあり、教育に関するキャリアも積むことができる。

必要に応じて、大学院生・学生への研究指導も部分的に担当することができるため、研究者としても教育者としても成長できる環境である。